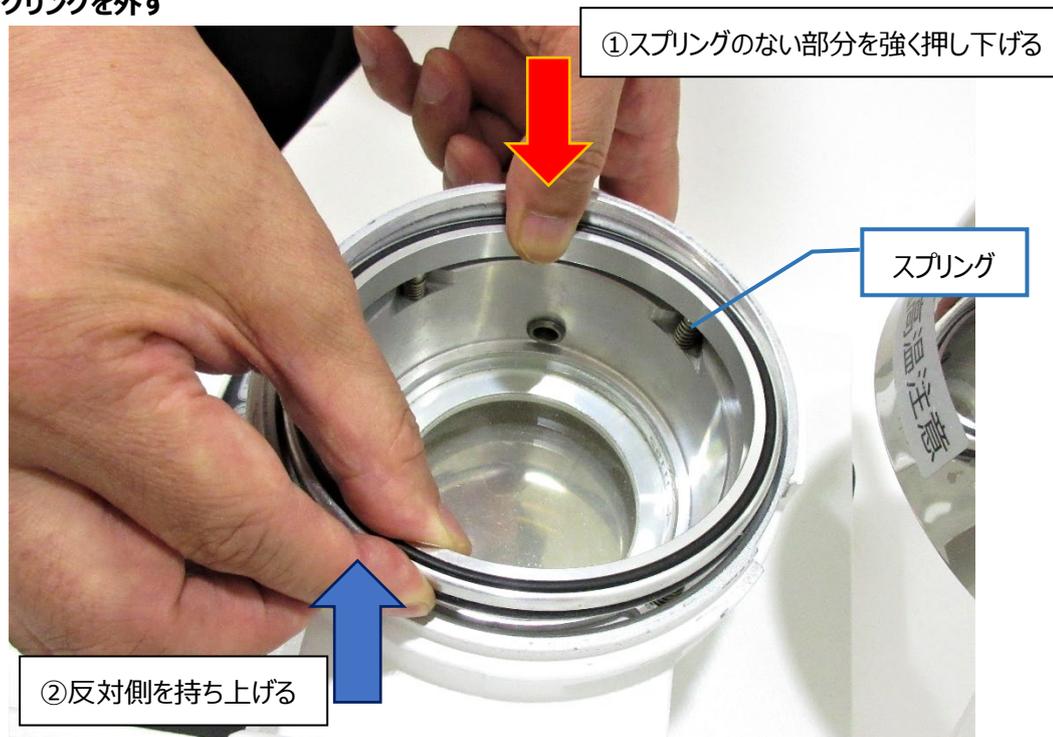


バイオスター チャンバー内部のクリーニング方法について

石膏やほこりなどの汚れによりチャンバー内部のバランシングリングの動きが悪くなると、プレートを十分に挟み込むことができなくなり、プレートの辺りからエアリークが発生することがあります。その場合は、下記のクリーニング方法をお試し下さい。

1. バランシングリングを外す



2. スプリングを外す



***2. チャンバー内のエア-流入口に金属の板バネが設置されているタイプの場合**

この場合は、金属板を外して清掃を行って下さい。

この板はシリコングリースを塗布する必要はありませんので、拭き取りのみ行います。

「6.」の工程で、バランスリングを元の位置に戻す前に、こちらの金属板も写真と同じ位置に戻してください。



3. ポストとバネを清掃し、ポストへ多めにシリコングリースを塗布する



4. バランシングリングの全体を清掃し、側面に薄くシリコングリースを塗布する



5. チャンバー側面に、シリコングリースを一周薄く塗布する

バランシングリングの動作部分に薄く塗布する



6. スプリングを全てチャンバー内に戻し、3回程プッシュして滑りを確認する
同様にバランシングリングも「1.」と反対の動作でチャンバーにセットする



① スプリングのない部分を押し込む



② ①を行いながら反対側も押し込む

<ご注意>

- ・エア漏れが起きていなくても2～3カ月に1回は上記のクリーニングを行うようにしてください。
- ・基本的にはバイオスターに付属しているシリコングリースをお使いください。お持ちでない場合は、ホームセンターなどで柔らかめのシリコングリースをご購入下さい。
- ・ワセリンはバランスリングのゴムに含浸し膨張してしまうため、使用しないでください。
- ・冬場は特にシリコングリースが固まりやすいため、バランスリングを何度か押し下げて、動作を確認してからプレートを圧接するようにしてください。
- ・バランスリングの側面や上面にあるゴムにヒビが入っている場合は、交換のタイミングです。その際はお手数ですが、お出入りのディーラー様にご注文下さい。側面(厚み 4mm)と上面(厚み 3mm)ではサイズが異なりますのでご注意ください。

株式会社 JM Ortho